



## みんなで遊ぼうDAYふかうらが開催されました

北金ヶ沢総合防災センターでみんなで遊ぼうDAYふかうらが開催され、町内外から親子約80人が集まり、会場に用意された段ボールや紙コップ、深浦町の海岸に流れ着いた流木を使い自由に遊びました。

子どもたちは「ダンボールでいろいろなものを作るのが楽しかった」と笑顔を見せていました。

主催した遊ぼう企画の阿部さんは「既製品ではないもので遊ぶ楽しさを知ってほしい。流木など自然の中で遊べるものもあるので、深浦の自然で遊ぶきっかけになれば」と語っていました。

11/9

## 楽しく！ふかうらスポーツ教室が開催されました

ふかうらスポーツ教室が深浦町町民体育館で開催されました。バドミントン・バスケットボール・テニスの3種目が行われ、参加した小・中学生が「楽しむ」ことを目標に、弘前大学教育学部の学生が各種目のポイントを指導しました。

子どもたちからは「周りから見たフォームに気づけて楽しかった」「バスケに興味を持ったので、高校で挑戦してみたい」といった感想が聞かれました。

弘前大学2年の伊藤愛菜さんは「部活として取り組める環境がない種目を体験する機会を作ることができてよかった」と充実した表情で語っていました。

11/15・16



## 「災害時連絡方法のてびき」を寄贈

公益財団法人日本公衆電話会青森支部から地域社会の安全・安心の向上と地域社会生活の充実に寄与する活動の一環として「災害時連絡方法のてびき」300部「171ポケットティッシュ」200個が、町へ寄贈されました。

この手引きは、大規模災害時の安否確認などに役立つ「災害用伝言ダイヤル171」や「Web171」、「災害用伝言版」などの使い方が記載されている冊子です。

今回、寄贈された「災害時連絡方法のてびき」等は、町が実施する防災訓練や防災セミナーで活用します。

11/17

## 深浦小学校に優良図書300冊が寄贈されました

青森創価学会から深浦小学校に文学や図鑑などの優良図書300冊が寄贈されました。

創価学会では、50年以上にわたり教育支援として、小・中学校などに図書を寄贈しており、全国で1,337校、56万冊を超えています。県内でも25校、7814冊の図書を寄贈しています。

来年度から5年間、毎年20冊ずつ追加される予定で、合計400冊が贈られることになっています。

児童を代表して平沢幸歩さん（6年生）が「本から大切なことを学んでいきたい」と感謝の言葉を述べました。

11/18



## 深浦町イクボス宣言

職場で共に働く仲間の育児や介護などを応援する上司（ボス）を意味するイクボス。役場は、職員のワークライフバランスの推進を目的に、町長を含む管理職を対象としたイクボスセミナーを受講した後、「イクボス宣言」を行いました。

セミナーでは、NPO法人ファザーリング・ジャパン東北代表理事の本田正博さんが、イクボスの必要性や管理職として意識すべき点などを講義しました。

イクボス宣言書を読み上げた平沢町長は「宣言をして終わりではなく、実践していくことが大切。誰かが休まなければいけない時に、周囲の職員が代わりに対応できる体制や意識づくりを進めていきたい」と意気込みを語りました。

11/27

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。  
深浦町総合戦略課 企画調整係  
電話 74-2122

## 青森県立郷土館特別移動博物館が開催されました

深浦町文化祭岩崎分館（ふれあいと創造の館）展示コーナーで、青森県立郷土館主催による「特別移動博物館」が開催されました。

“ダイカイギユウ上陸！”と題し、岩崎地区で出土したアンチポフブナ化石（ブナの先祖）の化石や関地区で出土したダイカイギユウの化石などの展示、アンモナイトや三葉虫の「化石レプリカ作り」体験が行われました。

会場には2日間で約60人の親子が訪れ、来場した子どもたちは、普段見ることや触ることのできない貴重な化石を前に興味津々でした。

11/1・2



## たわわに実ったバケツ稲を収穫

深浦小学校の5年生14人が今春に苗を植えたバケツ稲が収穫の時期を迎えました。苗の生育観察や夏の水やりと児童たちが心を込めて育てた稲は、10月には稲穂が垂れるほど成長しました。

児童たちはたわわに実った稲穂を鎌で丁寧に刈り取り、麻ひもで束ねて柵にかけ、天日干して数日乾燥させた後、米をザルとソフボールを使って脱穀しました。

児童たちは「鳥に食べられないように工夫するのが大変だった」「自分で育てたお米を食べるのが楽しみだ」と笑顔で話してくれました。

11/4

## 涙活講演会が開催されました

役場町民文化ホールで、涙活講演会が開催されました。

「涙活」とは意識的に涙を流すことによって、心にたまったストレスや不安を手放す活動のことです。認定資格「感涙療法士」を東邦大学医学部名誉教授の有田秀穂氏と共同で創設した吉田英史さん（通称：なみだ先生）が、ストレス解消になる泣き方や泣きのツボについてなどの講演を行いました。

吉田さんは「涙を流すことで健康になれる。涙を流して心穏やかに、快適に過ごしてほしい」と講演の最後に語りました。

11/5



## 認知症映画上映会が行われました

フィットネスプラザ「ゆとり」で、認知症映画上映会が行われました。

上映会に先立ち、いちい薬局による『脳の体力測定』や『脳の健康教室』、サポーターによるすうじ盤を使った体験会などが行われ、多数の方が楽しそうに認知機能のチェックを行っていました。

上映会では『ケアニン～こころに咲く花～』を鑑賞し、中には自身が経験した認知症の方の介護を思い出して涙する方もいました。参加者された方は「介護の仕事の理想と現実。入所された方の家族の思いの一部を知ることができました」と感想を語っていました。

11/6